

## 自宅と一緒に入れ歯も流され柔らかいものしか食べられない

### 4/28 移動なんでも相談会 女川町運動公園仮設住宅



健康相談にのる藤本たか子医師

4月28日(土)女川町運動公園仮設住宅(320世帯)で、「移動なんでも相談会」が開かれました。宮城民医連から藤本たか子医師(古川民主病院)、新人の看護師さんなど12名が参加し、健康・医療相談と支援物資の提供、アンケート調査活動などを行いました。

藤本医師の所には、口腔内にキズがあるということでみてもらい、内科的処置を受けた人、1か月位前に注射をしてもらった時のしびれが今も残っているという人、血圧の高い人などが相談に訪れました。

熊谷義純さん(協会事務局・事務)と田代彩華さん(坂総合病院・看護師)が訪問したお宅は、高齢の女性が一人暮らしで、腰痛で動けず、支援物資が受け取れなかったという事もあり、藤本先生が持参したパウンドケーキと煮豆を届けました。食事が気になりお話を聞くと、娘さんが時々食料品を運んでくれているとのことでした。また、震災の津波で、自宅と一緒に入れ歯も流されてしまい、柔らかいものしか食べられないとの事で、熊谷さんが「9月30日までなら、無料で入れ歯を作ることができるんだよ」と教えてあげました。ただ、最近娘さんがみえられていないこともあり、熊谷さんは「宮城民医連の職員でなんとかサポートできないか、娘さんや女川の高野町議と相談しながら、サポートしたいと思っているが、職員でよい方法があったら、連絡下さい」と話していました。



女川町は土地が狭いため  
3階建ての仮設住宅も



アンケート調査を行う  
本館さんと小野寺さん

### 震災の記録

### 石巻市大川小学校付近



大川小学校児童捜索の様子(2011年4月25日午後2時35分)

本館広樹さん(坂総合病院・放射線技師)と小野寺莉子さん(同・看護師)は、アンケート調査。阿部哲さん(72)宅では、「家を建てるにしても年齢も高いし銀行もお金を貸してくれないので、将来が心配。車があるので買い物は石巻に行っているが車の無い人は買い物も大変な場所。この仮設に来るまでは人とも話さないし、運動もしなかったが、今は知っている人もいて、運動もする様になった。」30分以上お話を聞き、傾聴ボランティアの役割も。